



日本百名城

能登半島国定公園・国指定史跡 七尾城跡

七尾城史資料館・懐古館

七尾市教育委員会

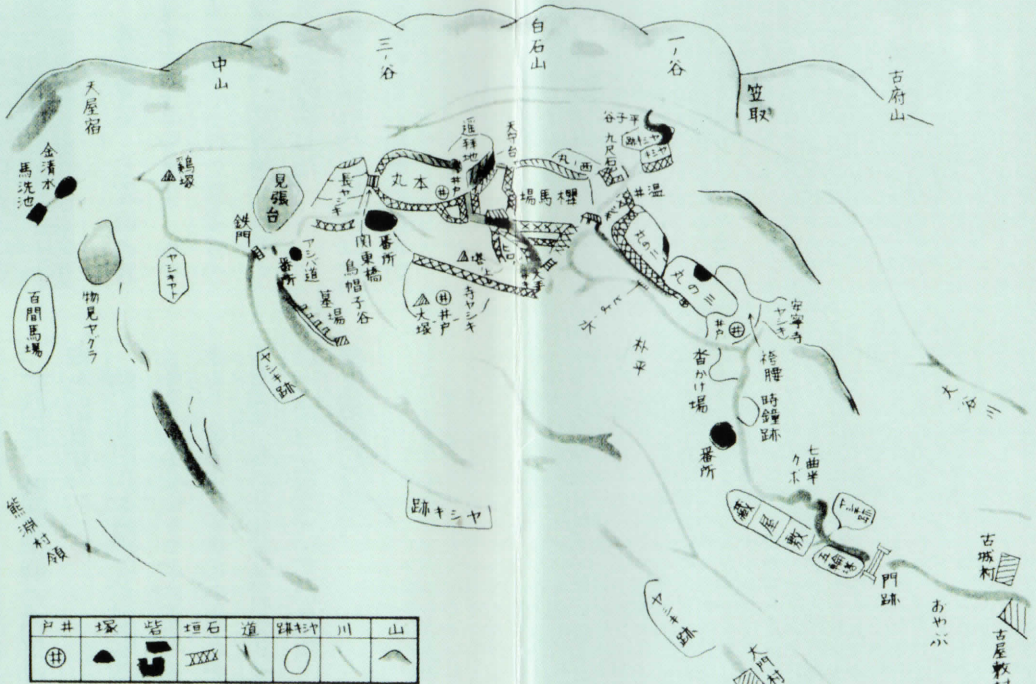
七尾城のあらまし



守護大名として、百七十年間、能登を統治した畠山氏の居城で、今から約四百年前に滅んだ中世の拠点城郭です。山全体が城とも言える集合城として、築城学からも規模の大きさからも、たいへんすぐれたものでした。

初代畠山満慶の頃は、皆（より）ごのようなものであったと思われるますが、その後の、応仁の乱や、一向一揆、百姓の強訴など、戦国時代の前ぶれが、地鳴りのように押しよせてくる状況の中で、徐々に強固な山城に作りあげられてゆきました。遊佐（ゆき）温井（ぬい）

七尾城絵図



七尾城史資料館



七尾城史資料館は、昭和三十八年、七尾城主の子孫である畠山一清翁によって古屋敷町シカマ藪に建てられ、平成七年に大修理された。中世の城のイメージを取り入れた近代建築である。

館内には、七尾城や城下から出土した天目茶碗、水晶製五輪塔型舍利容器、銅板線刻清涼寺式釈迦如来立像をはじめ、城主愛刀、長槍、薙刀、螺鈿の鞍、唐草模様の鎧などの武器・武具や、城主直筆の書翰も展示され、戦国時代の武家の生活の一端を知ることが出来る。

長、三宅などの重臣によって、何度か内部争いがあったのですが、外からの危機には、この争いを止めて団結するという家風が、ともあれ百七十年の治政を支えてきたのです。しかし、戦国怒濤の中で織田方と上杉方に別れ、そのことによって城も畠山氏も共に滅んでゆきました。

上杉謙信は有名なかの九月十三夜の詩をこの城でよんだと言われているようですが、勝利のうま酒を飲みほして、その半年後にあっけなく病で死を迎えました。

その後、織田信長の配下である前田利家が能登の領主となったのです。

しかし、もはや山城の時代ではないと考え、小丸山に移り、そこを中心にして今の七尾町を作りました。



(資料館前庭)

能登畠山氏と七尾城の歴史

応永 十五年	一四〇八	初代畠山満慶、能登一国の守護となる。満慶は京都に在り、家臣の遊佐氏が守護代として能登を治める。
応仁 元年	一四六七	応仁の乱起る。三代畠山義統、西軍に付く。
文明 四年	一四七二	義統、西軍より東軍に移る。
文明 五年	一四七三	義統、室町幕府の管領職に任命される。
文明 十年	一四七八	応仁の乱が終わり、義統、能登に帰国する。連歌師宗祇、七尾へ来る。
文明 十五年	一四八三	義統ら「賦何船連歌」を作る。
大永 五年	一五二五	七代畠山義総、永閑らと「賦何人連歌」を作る。
大永 六年	一五二六	歌人冷泉為広、為和父子、七尾へ来る。
天文 二十年	一五五一	この頃、畠山七人衆体制が敷かれる。
天文 二十二年	一五五三	遊佐統光ら、加賀より能登に侵入する。温井紹春らこれを破る。
永祿 八年	一五六五	畠山氏の重臣ら、九代畠山義綱を追放する。
元龜 二年	一五七一	長谷川等伯、絵画修行のため上京する。
天正 四年	一五七六	越後の上杉謙信、能登に攻め入り、七尾城を囲む。
天正 五年	一五七七	謙信、再び七尾城を攻める。七尾城落城し、能登畠山氏滅ぶ。
天正 九年	一五八一	織田信長、前田利家に能登一国を与える。
天正 十年頃	一五八二	利家、小丸山に城を築く。

九月十三夜

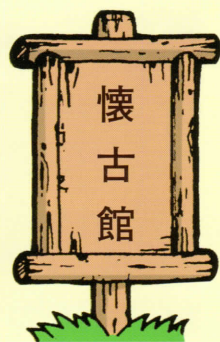
霜は軍營に満ちて秋気清し
数行の過雁月三更

越山併せ得たり能州の景
遮莫家郷の遠征を憶ふ

伝 上杉謙信作

「古城」の碑

高橋掬太郎 作詞



懐古館、飯田家は、七尾城と縁の深い古屋敷町にあります。約一九〇年の昔に建てられた茅葺きの大地主の家です。加賀藩の肝煎り(庄屋)もつとめました。戸障子を取りはらうと大きな広間になる間取りも、能登の民家の

典型で、冠婚葬祭に役立ちました。太い松の梁や檜の柱は、深い雪を支えるだけでなくその威勢をも示し、うるし塗りで。

あまとよばれる茶の間の高天井は、竹を並べて煙や湿気を吐きだします。夏涼しく冬はいささか寒いのですが、だからこそ人々は大きな囲炉裏を囲んでよりそって生活したわけです。

古い能登の生活と精神を支えた家のもつ重々しさや哀しさや美を伝える懐古館です。

それを包みこんでいる杉木立の多い庭園は、野趣にとみ、特に苔の生育に適しているため、四十種類以上といわれる苔が庭園をおおっていて、苔植物園と名付けた学者もいます。

隠し井戸が木陰に今も水を湛え、山岳仏教寺院からの古雅な欄間があり、能登の田舎の自然と歴史と生活が、烈しい時の流れの片隅に、ひっそりと息づいている所……と言えるでしょう。

ご案内

七尾城史資料館・懐古館

- 開館時間
午前9時～午後5時
(入館は午後4時30分まで)
- 休館日
毎週月曜日、祝日の翌日
12月11日～3月10日
- 入館料

	《一般》	《大高生》
資料館	200円	160円
懐古館	200円	160円
	(団体20名以上)	
資料館	160円	120円
懐古館	160円	120円

- 交通
タクシー JR七尾駅から5分
市内巡環バス「まりん号」
東回り「城山の里」下車 徒歩2分
七尾バス
「グランド前」下車 徒歩3分

- お問い合わせ
七尾城史資料館・懐古館
TEL 076-922-0024

石川県七尾市古屋敷町夕8-6

電話(0767) 資料館 53-4215
懐古館 53-6674
FAX(0767) 共通 53-4215

